

広島県 小売業 SAFE協議会 スタート

～ 広島県で働くすべての方の健康と安全のために～



この協議会は、広島県内のリーディングカンパニー、業界団体、災害防止団体、行政機関を構成員として、各業界における労働災害防止に関する情報共有、好事例の水平展開、啓発活動などを通じて、労働災害の減少を図ることを目的としています。

広島県 小売業 SAFE協議会ってなに!?

そもそもSAFEとは?

従業員の幸せのための安全アクションを推進する活動体の名称です。

Safer Action For Employees = SAFE
(セイファー アクション フォー エンプロイーズ セイフ)

本事業の背景 / 目的

近年、労働災害、特に、日常生活でも発生し得る**転倒**や**腰痛**などの**災害が増加**しています。背景として、産業構造の変化、成長産業における人手不足、働き方の多様化、顧客第一の文化、従業員の安全を守る視点の欠如、対策に取り組むメリットが見えないなど様々な問題があり、これまでの取組だけではこれらの災害を減少させることが難しくなっています。

働く人だけでなく、家族、事業者、地域のすべての人の幸せのために、労働災害を改めて社会問題としてとらえ、顧客も含めたステークホルダー（事業の関係者）全員で解決策を考え、取り組んで行くため、厚生労働省が立ち上げた活動体であり、全国の都道府県でも順次展開されています。

広島県小売業SAFE協議会とは?

協議会の目的

令和4年10月に広島県小売業SAFE協議会を立ち上げ、同月7日に第1回となる協議会を開催しました。

この協議会は、広島県内の小売業で働く人やその家族、事業者、地域のすべての人の幸せのために、労働災害を減少させるべく、様々な立場から今ある問題点や解決に向けた取組などを協議していくものです。

また、協議会で収集した情報や検討内容については、広島県内全域で水平展開を図っていただくため、関係者に広く周知を図っていきます。

協議会メンバー

企業：株式会社イズミ / 株式会社フレスタ / マックスバリュ西日本株式会社

業界団体：広島県商工会議所連合会 / 広島県商工会連合会 /

広島県スーパーマーケット協会

防災団体等：中央労働災害防止協会中国四国安全衛生サービスセンター

行政機関：広島県商工労働局雇用労働政策課 / 広島労働局労働基準部健康安全課

令和5年2月末現在 【順不同】

主な活動内容

メンバーの取組に関する情報交換

行動災害防止対策や健康づくりなどの専門家による講演

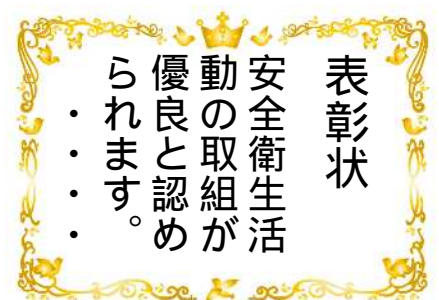
メンバー間の相互視察

行動災害防止に関する啓発資料の作成など

表彰(アワード)制度について

厚生労働省が行うもので、安全衛生活動に関して、SAFEコンソーシアムの加盟メンバーから、労働者の健康や安全の確保のための取組事例を募り、優良と認められた企業、団体、事業場等を顕彰する制度です。

SAFEコンソーシアムについて、詳しくは最終面をご覧ください。



広島県内の小売業における安全衛生活動の取組事例の紹介

事例1 『入社時の研修で全員に安全衛生教育実施』 株式会社イズミ

(1) 取組内容

入社後に全員が受講する「入社時研修」にて安全教育を実施。
その際に安全ルールハンドブックを配布し、工作中携帯している。

【内容】

カゴ台車使用ルール カートラック使用ルール
転倒を防ぐ注意点 カッターナイフ使用について
包丁・脚立使用ルール 衝突防止ルール
重量物持ち上げの際のルール

(2) 取組効果

入社後すぐの研修のため教育効果が高い。
(自己流の作業スタイルを変えるのは難しいが、最初から会社のルールを徹底できる。)

(3) 取組工夫など

ハンドブックは、定期的に現状に合わせた内容に見直しを行っている。



事例2 『スマートフォン動画を使った安全衛生教育』 株式会社フレスタ

(1) 取組内容

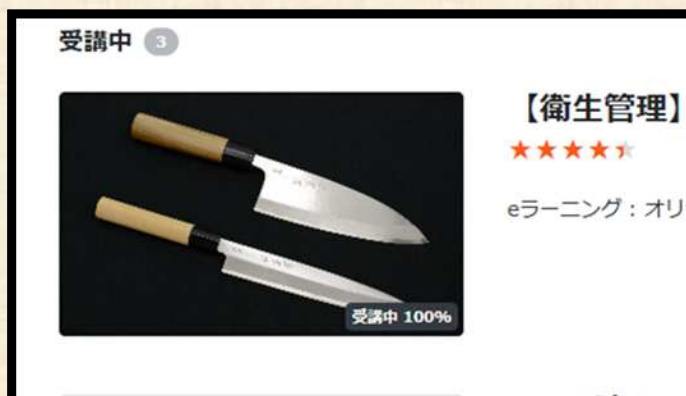
基礎的なスキル(能力)やリテラシー(知識)を動画を使いながらマスターしてもらい、怪我をしない、またコンプライアンスを逸脱しない環境を整備した。

(2) 取組効果

店舗数も従業員も増加したため、全員に人が付いてレクチャーすることができない状況になってきたが、この動画を部門のSV(スーパーバイザー)が指導時に使用することで、怪我をしないスキルに加え、生産性も上がり、全店共通のスキルの周知ができた。

(3) 取組工夫など

まだまだ道半ばではあるが、短時間で多くの従業員に伝えるスキルを磨くことを動画作成時には意識している。



事例3 『バックヤードに転倒注意の表示(危険の見える化)』 マックスバリュ西日本株式会社

(1) 取組内容

広島本社フロア内での衝突及びそれに伴う転倒防止について

(2) 取組効果

2022年度広島本社内での転倒事故ゼロ

(3) 取組工夫など

- ・ドアでの出会いがしらの衝突による転倒防止のため「一旦停止」表示を実施
- ・更衣室は入る時だけでなく、出る時にもロックする(イラストで見える化を実施)
- ・危険箇所に注意喚起POPを取り付け
- ・通路幅確保のためのルールの徹底
(搬入物を通路にて保管する場合、部署名・保管期間を表示して、2週間以内で撤去)



SAFEコンソーシアムとは？

設立の目的

増加傾向にある労働災害(特に、日常生活でも発生し得る転倒や腰痛などの災害)の問題を『自分ごと』としてとらえ、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図っていくため、趣旨に賛同した企業、団体等で構成した共同体のこと。

加盟のメリット

- 1 ロゴマークの使用やアワードによる安全衛生への取組のPR
- 2 加盟メンバー間での取組事例の共有等による安全衛生水準の向上、労働災害損失の減少
- 3 加盟メンバー間の労働災害防止・健康増進事業連携マッチング

加盟要件

「SAFEコンソーシアム」の趣旨に賛同し、コンソーシアム加盟の意思を示した団体をご加盟いただけます(加盟は無料です)。

広島県内の加盟メンバー

令和5年2月末日現在 12事業者

SAFEコンソーシアムに関して、加盟方法、加盟メンバー、表彰制度(アワード)など、詳細について知りたい方は「SAFEコンソーシアム「ポータルサイト」をご覧ください。

<https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>

